

氏名	鈴木 貴子	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	身体機能領域作業療法				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科、2012年筑波大学大学院人間総合科研究科博士前期課程生涯発達専攻学リハビリテーションコース				
経歴	2009埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科助教				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会、日本作業療法研究学会、日本リハビリテーション連携科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1)著作					
1	該当なし				
(2)論文					
1	該当なし				
(3)学会発表					
1	該当なし				
(4)その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)		筋電図バイオフィードバックと運動イメージを用いた上肢機能練習プログラムの開発(研究代表者)	2014~2016	
2	埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金		ロボットに身体障害者の病的運動を記憶・再現させて用いるシミュレーション医療教育用ロボットアームの開発(研究分担者)	2015~2017	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1)講義					
1	国立障害者リハビリテーション学院 義肢装具学科 運動学 講師	2015.11	手指、手関節の運動学について担当した。学生の理解度を確認しながら講義を進めた。		
(2)演習					
1	卒業研究ゼミナール	2015.9~2016.3	学部生3年次生2名の卒業研究を担当した。		
2	卒業研究	2015.4~2016.3	学部生4年次生1名の卒業研究指導を担当した。		
(3)実習					
1	作業療法運動学実習	2015.4~2015.7	作業療法士として必要となる運動学の知識を、臨床のエピソードを交えながら解説し、学生が実際に体験して、身体の運動を実感できる機会を増やすよう努めた。		
2	身体機能作業療法学実習(基礎)	2015.6~2015.7	整形外科疾患に関する領域を担当した。作業療法士が行う治療について解説し、paper patientによる治療プログラム立案についてレポートを課し、発表およびグループ討議を行った。		
3	ヒューマンケア体験実習	2015.8~2015.10	2施設を担当し、施設と学生間の調整を行った。施設での実習反省会および学内での振り返りでは、学生の学びや実感が確かなものにできるよう助言した。		
4	臨地実習 I-1	通年	実習の関連業務が円滑に運ぶよう事務作業や調整を行った。施設訪問を行い、学生指導および状況の把握等に努めた		
5	臨地実習 I-2	通年	実習の関連業務が円滑に運ぶよう事務作業や調整を行った。施設訪問を行い、学生指導および状況の把握等に努めた		
6	臨地実習 II-1	2015.4~2015.7	施設訪問を行い、学生指導および状況の把握などに務めた。		
7	臨地実習 II-2	2015.4~2015.7	施設訪問を行い、学生指導および状況の把握などに務めた。		

(4)論文指導			
1	卒業研究	2015.4～2016.3	学部生1名の卒業研究指導を担当した。
(5)その他			
1	3年次生学年担当	2015.4～2016.3	作業療法学科3年次生の学年担当として、個人面談や個別指導を行った。
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	高校出張講座(熊谷女子高等学校)		作業療法概論「作業療法とは」
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県作業療法士会	広報委員(会計)	2015
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	情報図書委員会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		